

## 第 16 回富士見市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	第 16 回富士見市地域公共交通会議		
開催日時	令和 4 年 3 月 25 日 (金)	開会	午前 10 時 00 分
		閉会	午前 10 時 40 分
開催場所	富士見市役所 第 1・第 2 会議室	出席者数	委員定数 20 名中 出席者 15 名
委員	<p><b>【出席】</b> 山本昇一委員、新井幸雄委員、田中郁代委員、加藤和美委員、山科和仁委員、関根 肇委員、三上秀樹委員、真家正人委員、板谷和也委員、清家裕之委員、西野利彦委員、浅井義明委員、水口知詩委員、鈴木貴久委員、森田善廣委員</p> <p><b>【欠席】</b> 馬場香澄委員、照井 誠委員、高原 昭委員、小俣英一委員、芳野 仁委員</p>		
事務局	<p><b>【事務局職員】</b> 落合都市整備部長、高橋都市計画課長、内田都市計画課副課長、塚都市計画課主任技師、新井都市計画課主事</p>		
配布資料	<p><b>【会議資料】</b> 第 16 回富士見市地域公共交通会議 次第 第 16 回富士見市地域公共交通会議 席次表 第 16 回富士見市地域公共交通会議 出席者名簿 富士見市地域公共交通会議委員名簿 資料 1 市内循環バスダイヤ改正案について 資料 2-1 市内循環バス時刻改正案について(市役所発時刻表) 資料 2-2 市内循環バス時刻改正案について(各駅発時刻表)</p>		
公開・ 非公開	公開 (傍聴 0 名)		

## 会 議 事 項

### 1 開会 落合都市整備部長

会長あいさつ

### 2 議事

#### (1) 市内循環バスダイヤ改正案について

会議資料により事務局から説明。

#### 質疑応答

委 員：今回の会議でダイヤ改正について確認された場合、ダイヤ改正は今年の4月からとのことでしょうか。減便による影響を受ける方がいらっしゃると思いますので、十分な周知が必要と考えます。

会 長：委員ご指摘の通り、周知につきましては、3か月程度の期間を設け、バス車内、ホームページ等において十分周知を行う予定です。

委 員：みずほ台駅方面には、民間路線バスが運行しておらず、代替手段がありません。みずほ台駅東口発の18時台の便が減便することと、このことについてはどのようにお考えでしょうか。また、18時台の利用者はどのくらいでしょうか。

事務局：バス運転手の1日の拘束時間の関係上、終発を繰り上げる必要があることから、改正するものです。また、この18時台の便につきましては、令和2年度実績から1便当たり3.7人となっております。

会 長：減便した便の代替手段として、先程事務局が説明したとおり、シェアサイクル等の移動手段を活用していただく考えとのことでした。

副会長：ダイヤ改正案につきまして、朝の便を厚くしすぎているような気がしますが、鶴瀬駅東口と市役所を結ぶ路線は、朝の時間帯に利用者が少ないにも関わらず6時台が増便されております。こちらを減便することで、みずほ台駅線の夕方の時間を増便できるようにも思えますが、複雑な状況を考慮して編成しているものと思われそうですが、そのあたりはどのようにお考えでしょうか。

事務局：利用状況から、特に19時以降、終発にかけて利用が減少する傾向が見られます。また、2台で8系統運行しておりますので、ダイヤの考え方として、富士見高校や老人センタ

一の時間に合わせた運行をすることから、例えば、他の便を変更すると富士見高校への便が1便に減少してしまうなど他系統に影響が出ることが想定されるため、この場で可否をすぐに回答することは難しいですが、ご意見を踏まえて可能かどうか検討してまいります。

副会長：終発を減便の方が影響は大きいと思われれます。これらの変更案につきましては、利用実態や民間路線バスが運行している状況から検討されたものでしょうか。

また、周知の際には、時刻表のみではなく、市内循環バスのダイヤの考え方を示して、そこまでの減便にはなっていないこと、代替手段があることが分かるような周知を行っていただければと思います。

事務局：考え方につきましては、利用実態と市内のバス路線を考慮して作成しております。まず、利用者の多い時間帯を厚くしております。また、市内のバス路線の考え方として、例えば、ある時刻において、山室会館から鉄道駅に向かう路線は、鶴瀬駅には行きませんが、ふじみ野駅に行く路線があることで代替ができるとの考えから、代替手段を加味したダイヤとなっております。

副会長：利用者の多い停留所はこれまでの資料で把握しておりますが、利用者の少ない停留所はどのくらいの利用で推移しているのでしょうか。

事務局：利用者が少ない停留所については、1日に利用者がいるかないかというところもございます。例えば、山室会館線では山室会館、羽沢の停留所で乗降される方が多くいらっしゃいます。この2つのバス停留所については、民間路線バスと同じ停留所を使用しているため、民間路線バスに代替が可能であると判断しております。

副会長：今のように、考え方をお示しいただいて、利用している方にとって代替手段となり得るのかの説明を行った方が良いかと思えます。また、みずほ台駅線については、代替バス路線がないことから、18時台については再度検討をしていただければと思います。ふじみ野駅線については、利用が少ない印象がございましたが、市内循環バスの考え方として、民間路線バスが運行していない地域に運行するという目的を達成するため、重複路線については、影響を最小限にとどめるダイヤ改正にするという考え方を丁寧に説明していただければと思います。

会長：ご指摘いただいた、みずほ台駅線のダイヤについては、事務局において検討をお願いします。

委員：前谷住宅線と山室会館線を循環型にするにあたり、道が狭い前谷住宅周辺で2台がすれ違う可能性があります。そういったことは考慮されているのでしょうか。

事務局：運行事業者である東武バスウエスト(株)に検討いただいたダイヤになりますので、その点についてはご配慮いただいていると考えております。

委員：運行事業者としては、運転手の労働条件改善のため、富士見市において率先して取り組んでいただき非常にありがたいと思っています。全体的なことを考えると、民間路線バスとの兼ね合い、老人センターの時間に合わせた運行、水谷東地域は志木駅へ出る路線はありますが、みずほ台駅へ出る路線が少ないなど、こうしたことを踏まえた良いダイ

ヤであると考えております。また、富士見市役所から鶴瀬駅に関しては、路線バスの運行本数が多く、こちらを中心に考えていただき、少ない地域についてはデマンドタクシーやシェアサイクルをご利用いただければと考えております。また、時間については、早い時間を削れば遅い時間は残りますが、早い時間を残して遅い時間も残すことはできません。民間路線バスでも、朝の時間帯は利用者が減っていませんが、夜の時間帯は減っております。コロナが収束しても継続していくためにもやむを得ないものと考えております。

会 長：みずほ台駅線のことはありますが、今回の会議をもちまして、基本的なダイヤ改正につきましては、事務局案の通りご了承いただけるということによろしいでしょうか。

委 員：了承

## (2) その他

富士見市シェアサイクル事業の実証実験の利用状況について事務局から報告。

### 質疑応答

会 長：シェアサイクルについては、実証実験ということで実施しておりますが、特に自転車で移動が可能な方については、積極的にご利用いただければと考えております。

副会長：基本的に多く使われているとのことですが、また、せっかくの機会ですので、利用状況、収支等について資料を用いてご説明いただければと思います。ご利用いただければ健康になる方が多くなるとおられますので、ぜひ継続していただければと思います。

会 長：次の報告の際には、利用状況、収支等について、資料を用いて委員の皆さまにはご説明させていただきます。

## 3 閉会 落合都市整備部長